

主題：信者

メッセージ 44

彼らの現在——一人の新しい人を着ることによって、神聖な三一の神聖な分与を団体的に
経験する

聖書： エペソ 2:15, 4:20-24, コロサイ 3:10-11

- I. キリストのからだである召会は、キリストの中で創造された一人の新しい人であり、神の永遠の定められた御旨を成就します——エペソ 2:15, 4:23-24, 1:9, 11, 3:9, ローマ 8:29 :**
- A. 召会がキリストのからだであることの強調は、命についてですが、召会が一人の新しい人であることの強調は、パーソンについてです。
 - B. キリストのからだとして、召会は、キリストをその命として必要とします。一人の新しい人として、召会は、キリストをそのパーソンとして必要とします——コロサイ 3:4, エペソ 3:17。
- II. 一人の新しい人は、団体の、宇宙的な人、すなわち、団体の神・人であり、すべての神・人の総合計です——4:24, コロサイ 3:10-11 :**
- III. 古い人を脱ぎ捨てるとは、古い性質、古い生活の方法、この世的な、社会の関係を脱ぎ捨てることです——エペソ 4:22 :**
- IV. 新しい人は、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造されました—— 24 節 :**
- A. 新しい人は神ご自身にしたがって、内側で、神の命と性質をもって創造されました。とても実際の意味で、新しい人は神と同じです。
 - B. 外側で新しい人とかかわりのあるすべては義であり、内側で新しい人とかかわりのあるすべては聖です：
 - 1. 義とは、神の義の道にしたがって、神に対して、また人に対して正しくあることです——マタイ 5:20, ピリピ 3:9。
 - 2. 聖とは、いかなる俗的なものからも神へと分離され、彼の聖なる性質で浸透されることです——ヘブル 12:10, II ペテロ 3:11。
 - C. エペソ人への手紙第 4 章 22 節における欺きは、古い人とかかわりがあり、サタンがパーソンとなったものです。24 節における実際は、新しい人とかかわりがあり、神がパーソンとなったものです。すなわち、欺きは邪悪であり、実際は神です。
- V. 信者たちは彼らの霊の中で新しくされることによって、新しい人を着ます—— 23 節 ローマ 12:2 :**
- A. 新しい人を着る方法とは、その霊とミングリングされているわたしたちの霊がわたしたちの思いの霊になることです——エペソ 4:23。
 - B. 霊がわたしたちの思いの霊となることは、霊がわたしたちの思いを方向づけ、制御し、支配し、所有することを意味します。霊がわたしたちの思いを方向づけるとき、それはわたしたちの全存在を方向づけます。
 - C. どれほどわたしたちが経験において新しい人を着るかは、どれほどわたしたちの霊がわたしたちの存在を方向づけるかにかかっています。日々わたしたちは、ミングリングされた霊にわたしたちの存在を制御していただき、わたしたちの思いを新し

くしていただくことによって、新しい人を着ます—— 24 節。

VI. 新しい人は、「創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです」——コロサイ 3:10 :

A. 新しい人はわたしたちが再生された時にわたしたちの霊の中で創造されたのですが、依然としてわたしたちの全存在を通して新しくされる必要があります—— 10 節。

I テサロニケ 5:23。

B. 新しい人は、キリストのかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあります——コロサイ 1:15. 3:10 :

1. 全き知識とは新しくされることの結果です。わたしたちの内側の新しい人の成長は真の霊的な知識という結果になります。

2. わたしたちの内側の神聖な要素の拡大は、キリスト、すなわち、神のかたち、神の表現にしたがっています。わたしたちが新しくされることを経験すればするほど、さらにわたしたちは神のかたちを持ちます—— 10 節. 1:15. II コリント 4:4. ヘブル 1:3。

VII. 一人の新しい人の中で、キリストがすべての肢体であり、すべての肢体の中におられます——コロサイ 3:11 :

A. キリストはわたしたちの中に住んでおり、一人の新しい人の構成要素です—— 1:27. 3:4。

B. キリストは新しい人のすべての肢体であるので、新しい人の中では、どのような種族、国籍、文化、社会的地位のための余地もまったくありません—— 10-11 節。

C. キリストの実際が一人の新しい人のすべての肢体であり、すべての肢体の中にあることを経験するために、わたしたちはキリストを命じたパーソンとして取り、自分自身ではなく、彼を生きる必要があります——ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:20-21 前半。

VIII. 一人の新しい人の生活は、イエスの生活とまったく同じであるべきです——エペソ 4:20-21 :

A. 主イエスがこの地上で生きられた方法は、新しい人が今日生きるべき方法です——マタイ 11:28-30. ヨハネ 6:57. 4:34. 5:17, 19, 30。

B. わたしたちの生活の標準は、イエスの中にある実際、すなわち、主イエスが地上におられたときに彼によって生かし出された実際にしたがっていなければなりません——エペソ 4:20-21 :

1. イエスは神と一であり、神の中で、神と共に、神のためにすべてを行なう生活を生きられました。

2. イエスは、常に神の義と神の聖に一致した方法で生きられました—— 24 節。

3. わたしたちはキリストを学び、彼の中で教えられ、実際の生活を生きる必要があります—— 20 節. II ヨハネ第 1 章. ヨハネ 4:23-24。

4. 団体の人、団体の神・人として、新しい人は、実際がイエスの中にあるので、実際の生活を生きるべきです。すなわちそれは、イエスの中にある実際に一致する生活です——エペソ 4:21。

5. わたしたちが思いの霊にしたがって生きるなら、わたしたちは日ごとに、団体の新しい人の生活、すなわち、イエスの中にある実際に一致する生活を持ちます。

© 2008 *Living Stream Ministry*